

令和3年度 佐倉市地域福祉フォーラム

調布市のCSWのあゆみ

令和3(2021)年9月26日(日)

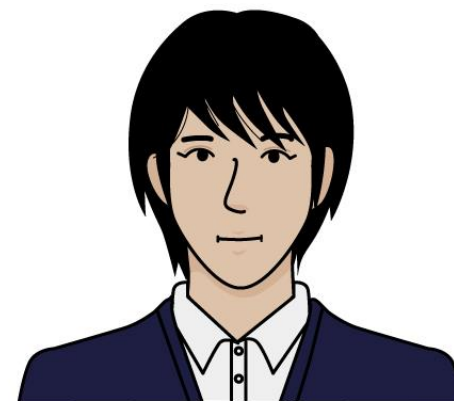
社会福祉法人調布市社会福祉協議会

地域支援担当係長 兼

地域福祉コーディネーター 坂本祐樹



自己紹介

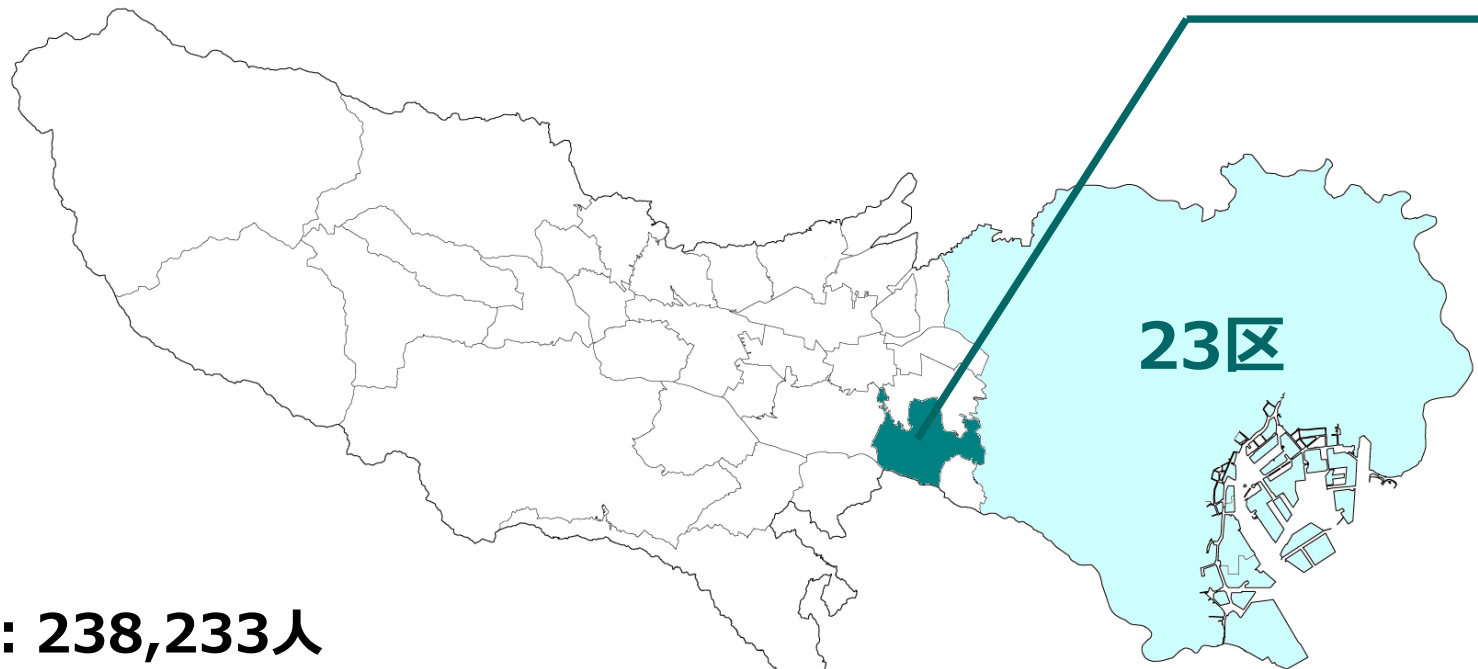


- 名前 坂本 祐樹
- 所属 調布市社会福祉協議会 地域福祉推進課
地域福祉係 地域支援担当係長
兼 地域福祉コーディネーター
- 資格 精神保健福祉士



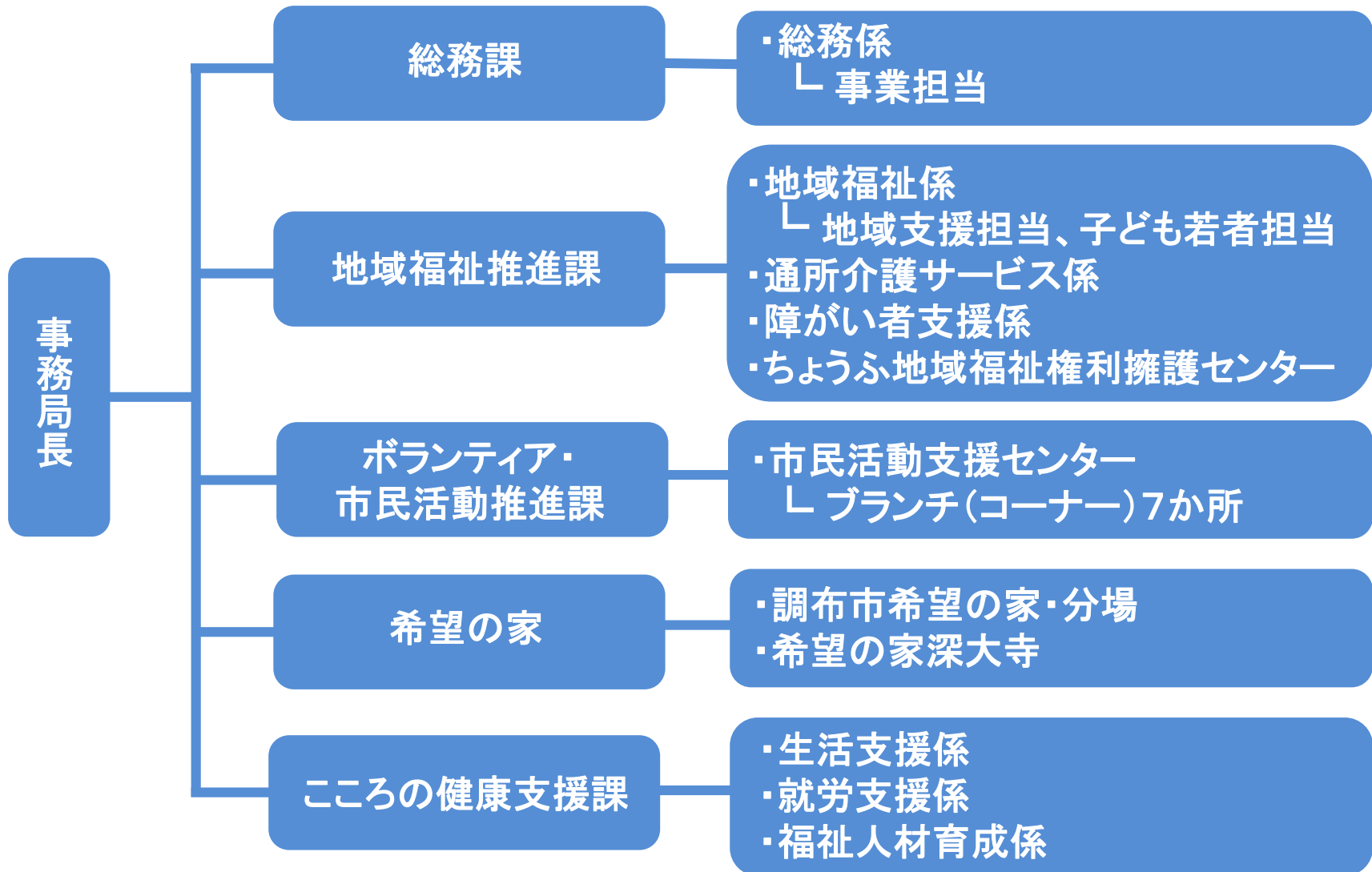
調布市の概要

 **調布市**

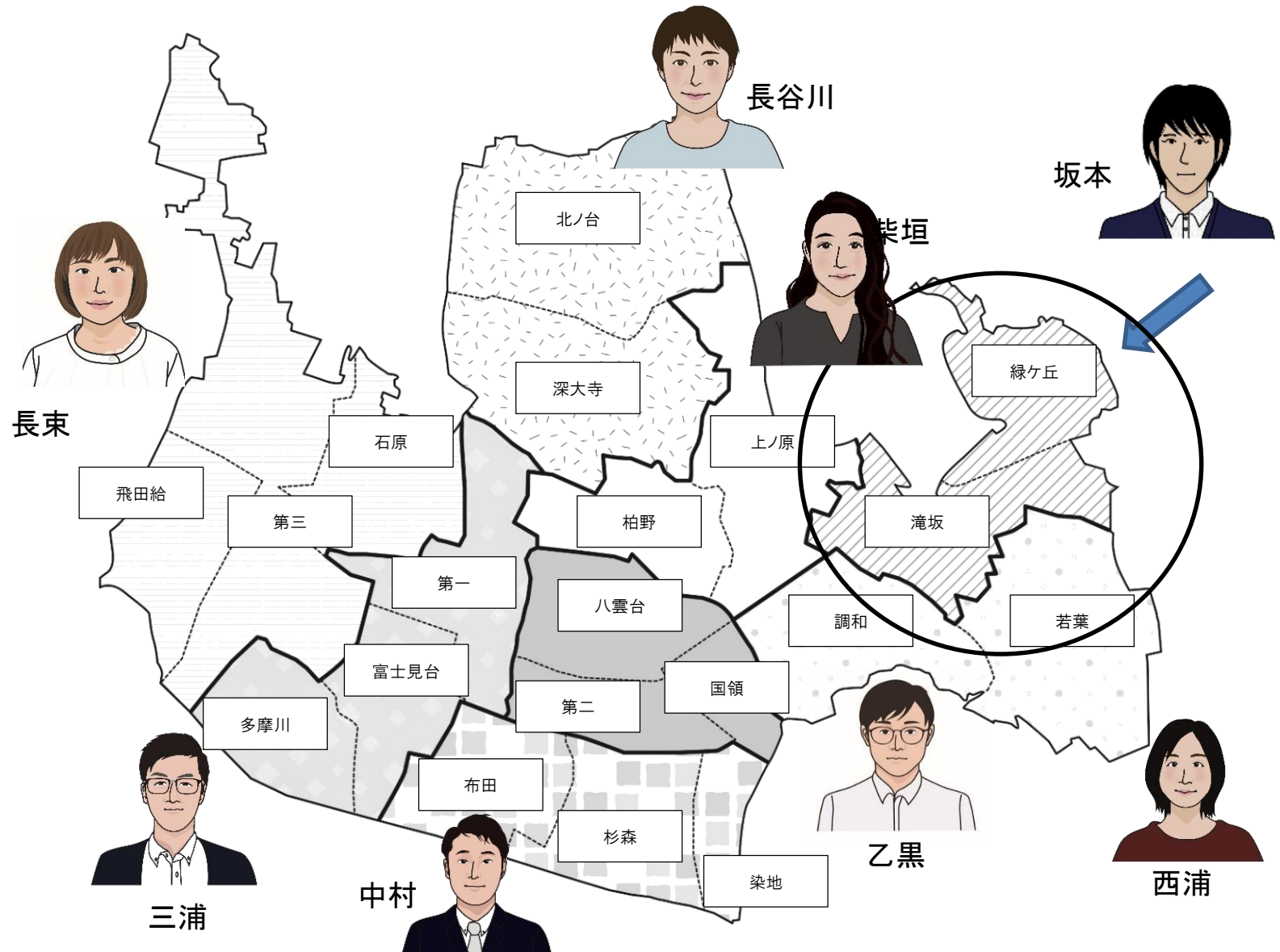


人口 : 238,233人
世帯数 : 122,059世帯 (1.95人／世帯)
高齢化率 : 21.58%
年少人口率 : 12.5% (以上、R2.4.1現在)
面積 : 21.58km²
自治会加入率 : 38.0% (R2.4.1現在)

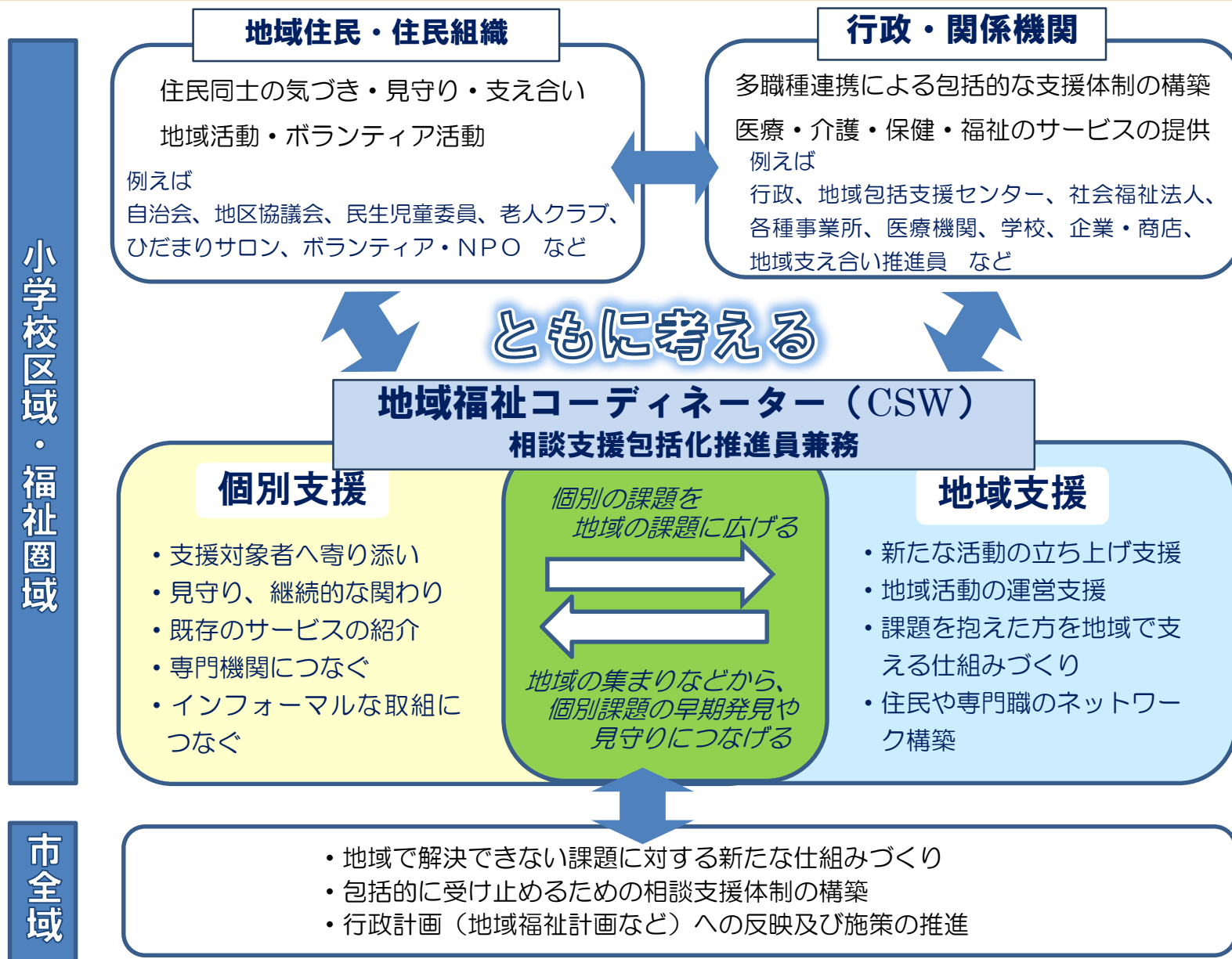
調布市社会福祉協議会 事務局体制



地域福祉コーディネーターの配置状況



地域福祉コーディネーターの役割



地域支援担当 基本理念

地域愛が
育まれるまち

多様な生き方を
認め合えるまち

社協理念

いつまでも住みつづけたいと思う
まちづくりをめざして

つながりの
大切さに
気がつけるまち

悩んだり困ったり
したときに
一緒に考える人が
いるまち

地域の情報が
行き交い、
人を結びつけるまち

行動の共通認識

○ まず受けとめる

相談とは「出会い」であり「可能性」です。まず受けとめましょう。

相談を断ってしまうことで、出会いから生まれる新たな「つながり」や、さらなる「課題」を発見するチャンスを失ってしまいます。一緒に考えていくこと自体が、信頼関係を構築する足掛かりとなります。

○ 課題ではなく人と向き合う

課題は、人や地域を通してはじめて課題となります。私たちが関わる課題は「できる・できない」の2択では決して判断できません。どのような相談に対しても「課題の解決のための支援」ではなく、「課題を抱え困っている人への支援」であると意識して真摯に人と向き合っていくことが大切です。

○ 見えているものが全てではないことを意識する

聞いたことや見たこと、把握している状況だけに捉われず様々な可能性を見据えて動きます。限定的に考えず幅を持った視点で行動します。

○ 弱さも活かす視点をもつ

どの人にも、どの地域にも弱さはあるものです。それはマイナス面で捉えられがちですが、弱さは視点を変えれば強さになり、また弱さがあるから動き出す原動力になる価値ある資源です。

○ 行動に意味をもつ

私たちに求められる役割とは何でしょう？この問いに答えるためには行動に意味を持たないといけません。行動を言語化することで目的意識が生まれ、ブレない一貫性のある支援者をつくります。「街角での立ち話」でさえも自分の立場や目的を明確にすることで、専門職の支援に変わります。

○ ゴールとともにプロセスを大切にする

結果や成果、目標といったゴールだけに目が行きがちですが、そこに向かう過程も大切です。悩むことの積み重ねが地域のちからになります。

○ チーム視点で考える

1人で頑張る必要はありません。一緒に考えてくれる人を探し、共通する目標をもつことで視野が広がり、また推進力も高まります。みんなで考えることで、ひとりでは解決困難と思われる課題をも達成できるようになります。さらに、達成感チームを強くし、強いつながりとなっていくます。

○ ないものはつくる

人や地域が捉える課題は、制度やサービスですべて解決できるものではありません。こうした狭間の課題に対して「ないから仕方がない」ではなく「どうしたらつくれるのか」を考えます。

地域福祉に関する計画と コーディネーターの配置状況

	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	...	R3 2021
地域福祉計画			H24策定⇒CSW配置を明記						H30策定 ※ ⇒圏域の変更			
地域福祉活動計画	第4次⇒CSW配置を重点に		第4次見直し						第5次			
地域福祉Co (CSW)				モデル 2人		本格 実施 4人			6人	8人		
地域支え合い推進員 (SC)						第1層 公益 法人に 配置		第1層 市直営 に変更 第2層 2人				第2層 4人

※福祉3計画(地域福祉計画、高齢者総合計画、障害者総合計画)の
基本理念の統一化が図られる

圏域の見直し

＜平成27年度当時＞

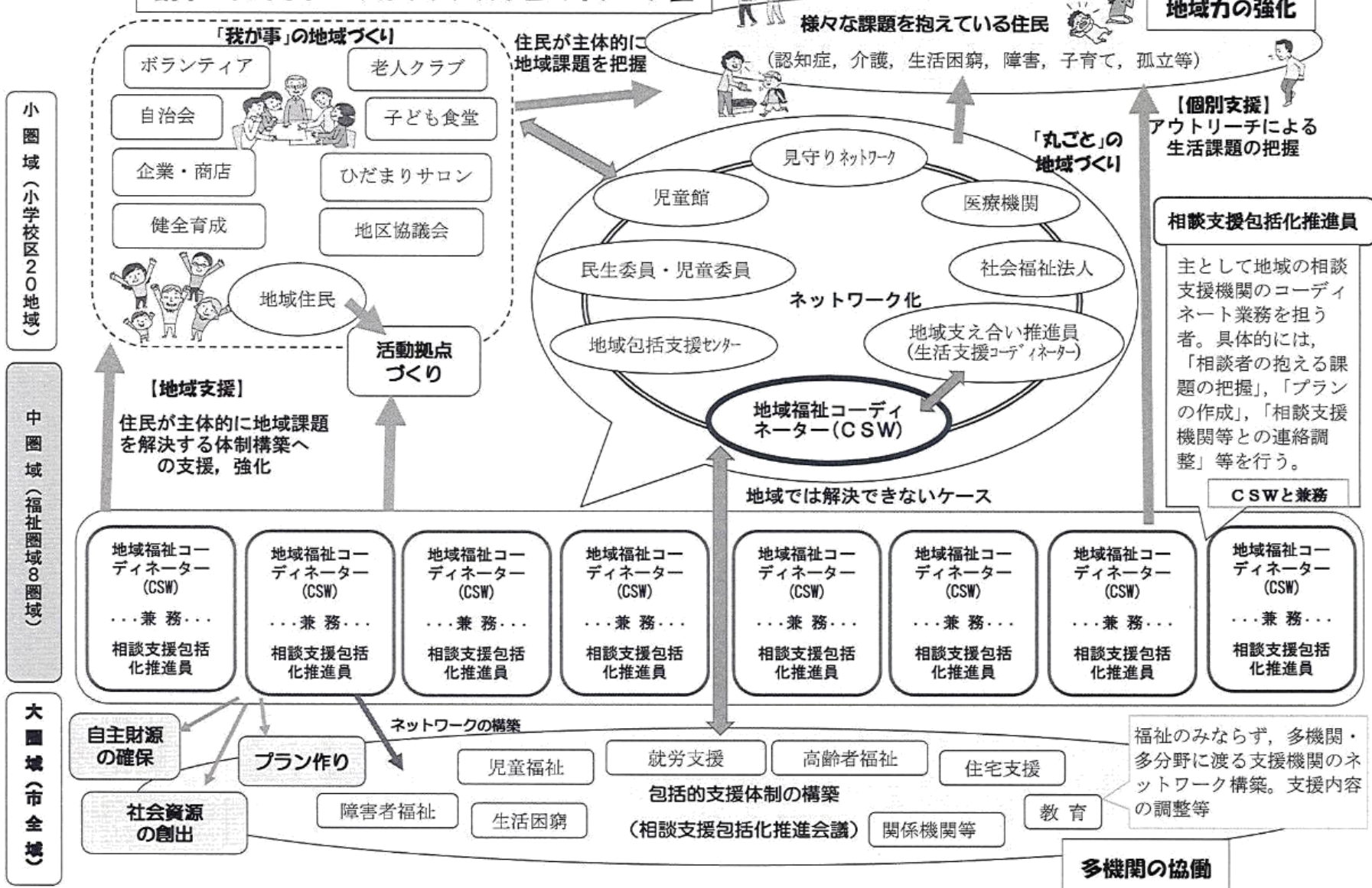
圏 域 等	区分	備 考
地域福祉計画(福祉圏域)	10	数十年前に設定された圏域を使用
地域福祉コーディネーター	4	主な担当地域は地域福祉計画上の10圏域だが、東西南北で活動
地域福祉センター	10	コミュニティ施設。地域福祉と合っていない
地域包括支援センター	10	地域福祉と合っていない 増設されるごとに圏域が変更
民生児童委員協議会	6	
地区協議会	20	小学校区(20校中15校で設置)※現在17校



小学校区をベースにした圏域へ

⇒平成30年度の地域福祉計画・高齢者総合計画・障害者
総合計画並びに地域福祉活動計画の策定に合わせ変更

調布におけるトータルケアシステムのイメージ図



個別支援

「障がい者世帯の悩みへのアプローチ」①

障がい者世帯のBさんより
「息子(A君6歳)が特別支援学校に行くことになったが、送迎バスの停留所まで遠くて送り迎えが辛い。息子も地域の友達と会えなくなると悲しんでいる。」

両親、息子(6歳)の3人世帯。3人とも障がいをもっている。母はうつ傾向。父はあまりサービスを使いたくない考え。



個別支援 「障がい者世帯の悩みへのアプローチ」②

～考えられる課題～

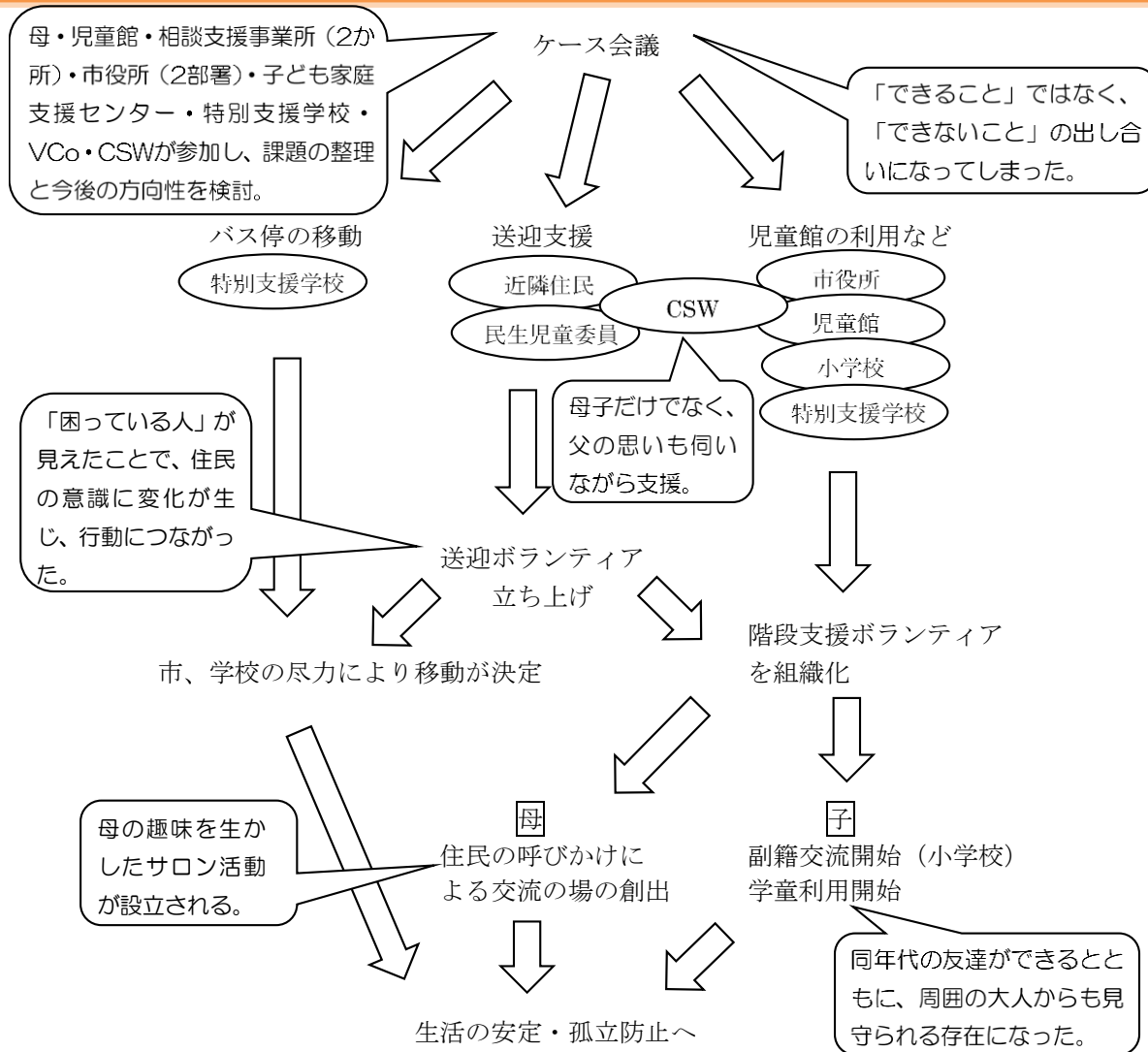
★地域にA君の居場所がない

★Bさんの身体的、心理的負担



個別支援

「障がい者世帯の悩みへのアプローチ」③



個別支援 様々な複合ケース

親が亡くなり、ひきこもりの兄弟が残された。誰に相談してよいのか…。

刑期を終えたあとの生活を整えたい。地域とのつながり方を相談したい。

両親別居世帯、母親が末期がんとなり、同居している子どもの将来が心配。

精神障害、急遽入院することになりペットが残された。エサをあげてほしい。

外国籍で日本語が話せない。経済的に困っているようだが、何に困っているか伝えられない。

ホームレスと思われる方が施設内のベンチを拠点にしている。どうしたらいいか。

拾ってきた猫が繁殖し、多頭崩壊を起こしている。自宅はゴミ屋敷状態、近隣から相談が入る。

ゴミが庭に山積みで、道路にもでてきている家がある。話しかけても無視される。

ボランティア仲間が認知症に。ボランティアを辞めさせたくないが、活動に支障がでている。



地域支援 ～ ひきこもり支援① ～

CSW会議にて・・・

ひきこもり相談、8050問題の相談が
ケースとして入るようになった。

ひきこもりは社会的な課題なの？
どのように支援すればよいのだろうか？

それ以前に、僕たちはひきこもりについて
何を知っているんだろう？

地域支援

～ ひきこもり支援② ～

2019年 ひきこもり支援団体へヒヤリング
支援団体からひきこもり家族を紹介してもらう
家族・支援団体とともにイベントを企画

ポイント

⇒主体性をつくる



「ひきこもり大学」を実施



ひきこもり家族懇談会を継続開催



2020年 家族が主体的となり団体登録へ
世話人会発足
ひきこもり家族会やまぼうし誕生

2021年 当事者支援へ

<ひきこもり家族懇談会の様子>



地域支援

～ ひきこもり支援③ ～

ひきこもり当事者家族

ひきこもり当事者、元当事者

行政機関

**ひきこもり家族会
やまぼうし**

社会福祉協議会
(地域福祉コーディネーター)

市民ボランティア
(カウンセリング協会)

医療機関
(精神科医、精神保健福祉士等)

ひきこもり支援団体

お寺で子どものために何かしたい ⇒子ども食堂かくしゅうじ誕生



地域活動同士をつなげたい ⇒ 富士見地域盛り上げ隊誕生



大人も堂々と子どもと接したい ⇒おせっかい広場誕生



中学生に認知症について知ってもらいたい ➡市民劇団を発足、認サポを実施



地場産の野菜を活かしたい ➡ふれあい朝市



宿題みんなでやれば楽しくない？

➡ Omiso誕生



高齢者だってスマホやPC楽しみたい ➡みんなdeネットサロン



- 参加者平均年齢: 60代ぐらい
- 男性・女性同数ぐらい
- 近隣住民の方に加え、修道院の方もご参加

「Zoomの使い方を知りたい！」

というリクエストがあり、
会場で「はじめてのZoom」にトライ。
参加者は全員、Zoomは初めて。



認知症や介護家族が行ける場所あったらいいな ➡仙川オレンジカフェ(認知症カフェ)



ご静聴ありがとうございました。